



Donetsk National
Technical University

国立ドネツク工科大学 の状況を通して観た ウクライナ

DonNTU副校長

Viktoriya Voropayeva





- 1921年DonNTU(国立Donetsk工科大学)設立
- ウクライナや他国の経済界において活躍する200,000以上の有能な専門家を輩出
- 22の国際組織のメンバー
- 現在においても世界各国50大学との関係を持つ

2014年以前の DonNTU





第1次移転時代

- ➡ 2014年3月 - ドネツク州において軍人が地区管理所を占拠
- ➡ 2014年3月22日 - ドネツク州でウクライナ統一を訴える平和的デモ参加者の最初の民間人死亡
- ➡ 2014年7月5日 - ロシア軍がドネツクに入る
 - ➡ DonNTUキャンパスの一部を占拠
- ➡ 2014年9月 - ドネツク人民共和組織が、所属するすべての大学と学校の移転を発表
- ➡ 2014年10月3日 - ウクライナ科学教育省がDonNTUのPokrovskへの移転決定

平和的デモにおける最初の死者
(2014年春、ドネツク)



ロシア軍部隊の
ドネツク侵入
(2014年7月)





大学キャンパス内における
ロシア武装集団と軍事部隊
(2014年秋、ドネツク)



国立ドネツク工科大学の最初の移転

ドネツクから
*Pokrovsk*へ(60km)



Viktoriya Voropayeva氏のコメント

- この移転は長くは続かず、すぐに故郷に帰ることが出来ると確信していたので、資産、雇用、校舎、宿舎、研究所、および図書なども残したままだった
- しかし状況はより深刻だった
 - この小さな町で大学の新しい歴史を開始することを覚悟した
 - 科学、教育研修施設を一から構築し、建物や宿舎を改装し、協力者を募り、新規の教育プログラムを開始した
 - 週7日、一日24時間働いて大学を再構築した
 - 職員は家を購入し、家具を揃え、子供達は新しい学校に通った

2022年2月24日以前のPokrovsk市



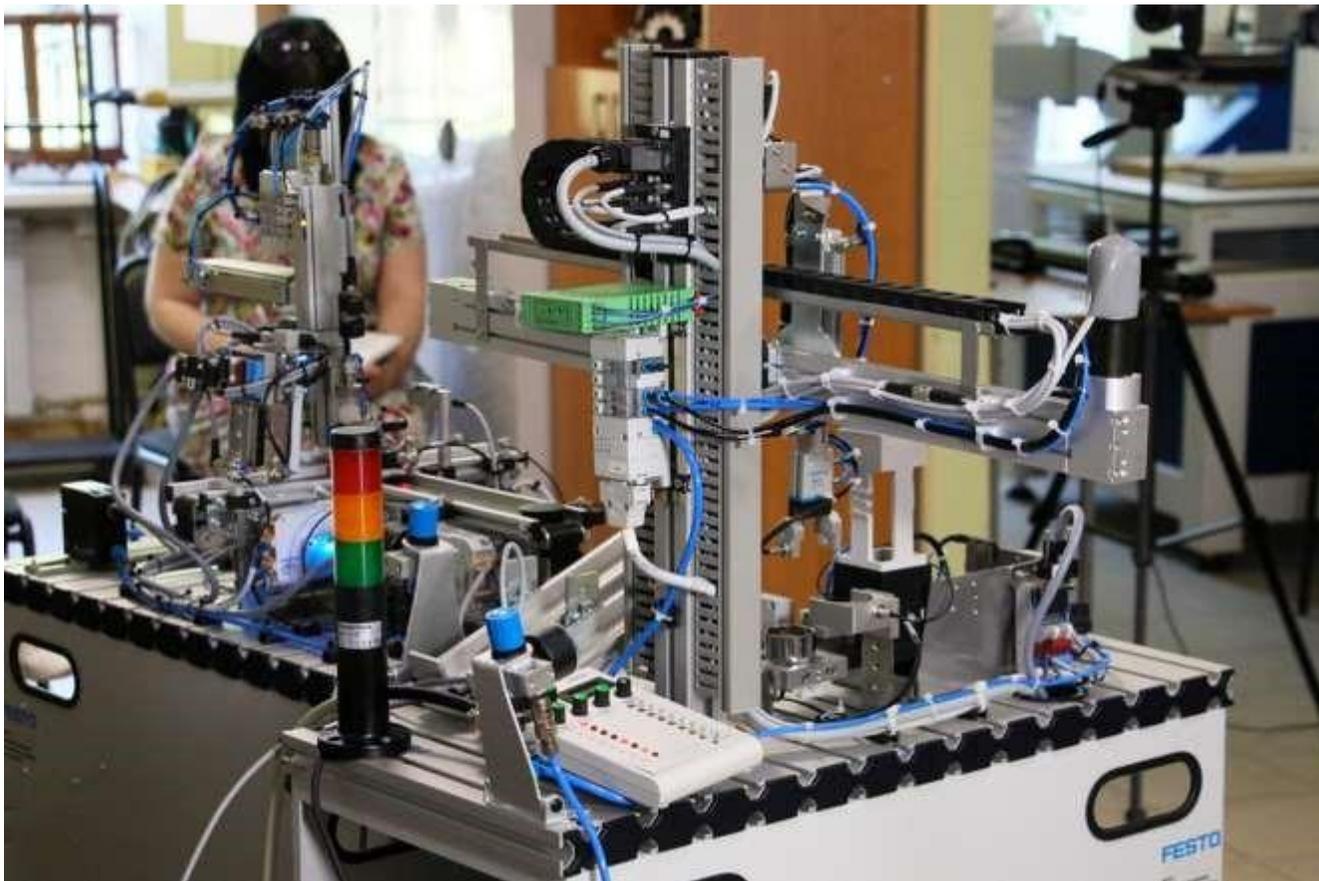
2022年2月24日以前の Pokrovsk市におけるDonNTU



Pokrovsk におけるDonNTU研究施設



Pokrovsk におけるDonNTU研究施設



2022年2月24日
3時40分

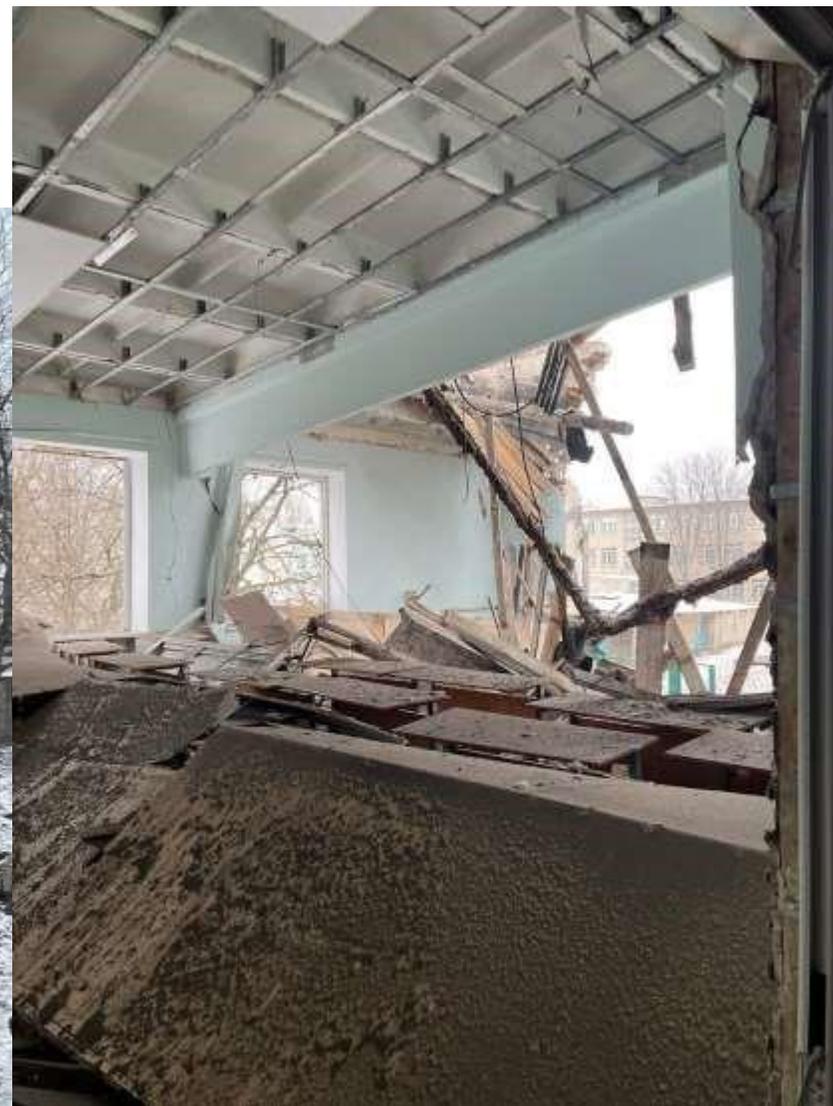


2022年3月
Kramatorsk駅における避難状況



2023年2月18日

PokrovskのDonNTU : キャンパス内



2023年2月18日 PokrovskのDonNTU : 教室



2024年2月28日 PokrovskのDonNTU



2024年8月3日 PokrovskのDonNTU



PokrovskのDonNTU: 研究室の退避・移転



Pokrovskにて研究施設移転についてインタビューに答える
Viktoriya Voropayeva副校長



2021年



2024年



国立ドネツク工科大学の2回目の移転

Pokrovsk から

Lutsk へ (1, 100km)



Lutskへ移動



Lutskでの DonNTU 初日



2023年2月23日： 忍耐の年



2013年のDonNTU in Donetsk

- 学生数：18,000
- 学術スタッフ：2,140
- 教授：118
- 研究者：152
- 学部：12
- 学科：82
- 校舎：11
- 宿舎：10
- 図書：100万冊



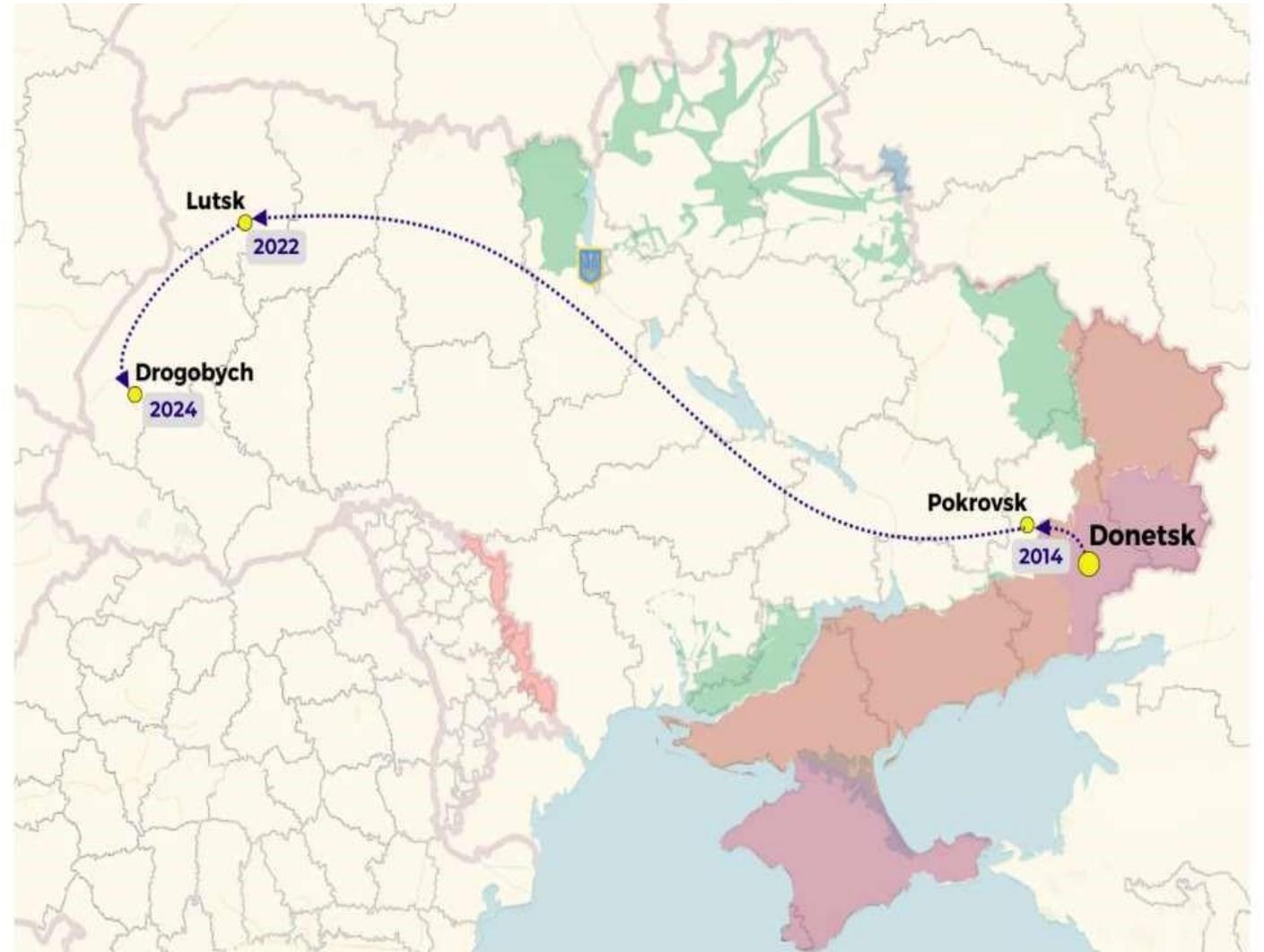
2016年DonNTU in Pokrovsk

- 学生数：4,000 (←18,000)
- 学術スタッフ：416 (←2,140)
- 教授：25 (←118)
- 研究者：38 (←152)
- 学部：5 (←12)
- 学科：27 (←82)
- 校舎：3 (←11)
- 宿舎：2 (←10)
- 図書：1,000冊 (←100万冊)



2024年DonNTU

- 学生数：1,180 (←4,000)
- 学術スタッフ：116 (←416)
- 教授：23 (←25)
- 研究者：54 (←38)
- 学部：4 (←5)
- 学科：16 (←27)
- 校舎：0 (←3)
- 宿舎：0 (←2)
- 図書：0冊 (←1,000冊)



LutskからDrogobychへ移転

- ➡ Lutskでは研究施設の配備や学生が勉強するための十分な施設が確保できない
- ➡ Drogobych市が工科大学の誘致を歓迎
- ➡ 施設を準備
- ➡ 同市にはウクライナ東部から企業が移転
- ➡ 経済活動の活発化

Viktoriya Voropayeva氏のコメント

- 困難を克服して私たちは生き残る
 - 避難生活、家探し、肉親と離ればなれ、破壊、暖房・水・電気不足、シェルターでの生活
将来への不安
- 我々のスタッフや学生は、本当の忍耐を示している
 - ある者は国を守るために前線に赴く
 - 残った者は不安定で、インターネットなどのコミュニケーション手段のないシェルター生活の中で働く
 - 空襲の時はシェルターで過ごし、カフェや給油所でインターネットや明かりを探しながら勉強を続ける

連絡先

Viktoriya Voropayeva

Vice-Rector

+38-050-472-45-64

voropayeva@donntu.edu.ua

<https://donntu.edu.ua/>

